

6 コクガン

(カモ目)

兵庫県ランク:要注目

Branta bernicla

繁殖個体群:無 越冬個体群:注 通過個体群:調

◎天然記念物

環境省ランク:VU(絶滅危惧Ⅱ類)

種の概要

北海道では旅鳥または冬鳥、本州北部では冬鳥。本州南西部、四国、九州にも冬期に少ないながらも記録がある。沖縄では迷鳥。兵庫県では主に12-翌4月に稀な記録がある。海上や海岸の荒磯、海岸の浅瀬、河口、干潟に生息し、アマモやアオサなどの海藻類を好んで採食する。



写真提供: 正井憲一

国内分布

北海道、南千島、本州北部、佐渡、舩倉島、本州中・南西部、見島、四国、九州、対馬、伊豆諸島、小笠原群島、奄美大島、琉球諸島、南大東島

県内分布 ()表記の市町では2002年以前に生息確認

(姫路市)、明石市、(西宮市)、(芦屋市)、(豊岡市)、加古川市、(赤穂市)、高砂市、たつの市



主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の希少性	
個体数激減	分布域激減	餌の可用性の低下	特殊競争圧	特殊捕食圧	特殊繁殖環境	特殊採餌環境	ねぐら休息環境・	局地的繁殖	希少

県内における生息状況およびその他特記事項

新規追加種。

県内の記録は極めて少ない。古くは1910年代頃に芦屋沖で数羽群、1931-1932年頃JR明石と大久保間で線路から南側の池で6-7羽群、1935年頃姫路市飾磨沖の海上で数羽群などの記録がある。近年では、1972年12月豊岡市3羽、1989年3月西宮市甲子園浜2羽、1996年2月赤穂市海浜公園1羽その他の記録があり、最近では2003年に加古川市と高砂市、2010年1月にはたつの市のそれぞれの海岸で観察されている。

保護上の留意点

自然豊かな干潟や藻場が広がる海岸の浅海域の保全・再生が重要。